

はじめに

高校野球夏の甲子園で前橋育英高校が優勝しました。こども囲碁の世界でも、群馬県勢は大健闘しました。新井満涌さん(富岡市出身、19歳)がプロ試験に合格しました。「こども囲碁王国・群馬」となる日が必ず来る、そう信じて協会の活動を一層前進させたいと思います。会員の皆さんの一層のご支援をお願いいたします。

代表：三谷 昇

1 第34回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会群馬県予選 (4/28 伊勢崎市民プラザ)

代表選抜戦に16人(小学生8人・中学生8人)、段級位認定大会に106人(19路盤クラス52人・13路盤クラス54人)の計122人が参加、特に13路盤クラスが倍増しました。歴史あるこの大会の参加者の過去最多は、平成15年(第24回大会)の137人、今回の122人はこれに次ぐものです。結果は、小学生で松永有君(前橋・桃井小6年)と羽柴鳳斗君(群大附属小5年)、中学生で石井蓮君(富岡中2年)と小鮎すみれさん(伊勢崎三中2年)が県代表になりました。石井蓮君は2年連続、他の3人は初出場です。

2 玉村町こども囲碁入門教室 (6/2 玉村町勤労者センター)

玉村町初めての入門教室で、日本棋院棋士有村比呂司八段を講師に、玉村町囲碁会の主催で開催されました。参加を呼びかけるチラシの配布を町内各小学校に依頼、玉村町内小学生等とその保護者46名が参加しました。参加した子どもの多くが、その後玉村町こども囲碁教室に入会して囲碁を学んでいます。

3 第9回文部科学大臣杯小中学校囲碁団体戦群馬県予選 (6/9 伊勢崎市民プラザ)

昨年から、学校混成チームの参加を認めてハンデ戦の親睦戦を設けました。そのために参加チームが大幅に増え、代表選抜戦に小学校6校・中学校4校、親睦戦に16チーム(学校単独10校、学校混成6チーム)の計26チーム79人がエントリーしました。県予選の参加校増加が認められて、今年の群馬県の全国大会出場枠が、小中学校各1校から小学校3校・中学校2校に増えました。小学校は前橋・桃井小が初優勝、中学校は伊勢崎二中が6連覇しました。県代表校と選手は以下のとおりです。

〈小学校〉 ・前橋・桃井小 [松永有・吉原大道・高橋佳佑] *主将・副将・三将の順
・伊勢崎・名和小 [今井丈・栗原千咲・宮内啓汰]
・伊勢崎・広瀬小 [藤本隼也・栗原草太郎・王睿亜]

〈中学校〉 ・伊勢崎二中 [惣蔵夕輝・須田崇史・惣蔵あさき]
・伊勢崎三中 [小鮎すみれ・武士懂哉・茂木智仁]

4 群馬県代表選手強化練習会 (6/30 伊勢崎ふくしプラザ)

小中学校団体戦と少年少女(個人戦)の全国大会出場者及び首都圏カップ県代表選手の棋力アップを目的に対象者を招集、14名の参加を得て開催しました。選手同士の対戦に加えて、棋士三谷哲也7段やアマ高段者(高山支部連合会長・柴山高崎支部長・加悦正昭前伊勢崎支部長)の指導碁、三谷7段の大盤解説など、選手は終日真剣に棋力向上に取り組みました。また、同じ会場で、候補対象者9名が参加して首都圏カップの選手選考会をおこない、その結果、成績上位4名を新たに県代表選手として追加しました。将来は1泊の合宿ができれば、と思います。

5 高校生との交流戦 (7/14 高崎高校)

県高校囲碁連盟との共催で今回が3回目。小中学生が高校生と盤上で戦うという、囲碁だからこそできる交流戦に、小中学生15名が参加。富岡高・前橋高・高崎高の囲碁部生徒と6局対戦し、互角以上の成績をあげました。将来は小中学生・高校生各30人規模の交流会にできればと思います。

6 第34回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会 全国大会 (7/30 日本棋院)

松永有君が、1次リーグ(3回戦)を全勝して枠抜けしました。決勝トーナメントの1回戦に敗れてベスト8入賞は逃しましたが特筆すべき好成績です。また、羽柴鳳斗君と石井蓮君は、1次リーグ2勝の後、第3戦に敗れ決勝トーナメント進出まで今一步でした。小鮎すみれさんは3敗でした。

7 第9回文部科学大臣杯小中学校囲碁団体戦 全国大会 (7/28~29 日本棋院)

伊勢崎・名和小は、1次リーグ(3回戦)をいずれも2勝1敗で勝利して全勝し、枠抜けして決勝トーナメントに進出、ベスト8以上を確定しました。翌日の決勝トーナメントでは3回戦とも敗れて8位入賞という結果でしたが昨年の広瀬小4位入賞に続いての入賞は立派でした。前橋・桃井小は1次リーグを2戦全勝して3戦目に昨年の優勝校の東京・九段小と対戦。これに敗れて残念ながら決勝トーナメント進出はなりません。ちなみに東京・九段小は2連覇しました。伊勢崎・広瀬小も1次リーグ2勝1敗で、群馬の小学校3チームの1次リーグの成績は7勝2敗というすばらしい成績でした。中学校では伊勢崎二中が健闘して2勝1敗、伊勢崎3中は3敗でした。このように出場校が小中学校計5校と大幅に増えたにもかかわらず群馬県チームは大健闘して好成績を収めました。

8 第3回首都圏カップ争奪こども囲碁団体戦 (8/11 川口市立中央ふれあい館)

○群馬県チーム選手(13名) 引率:三谷昇・加藤正二・田所穂積

石井蓮(富岡)・松永有(前橋)・羽柴鳳斗(前橋)・小鮎すみれ(伊勢崎)・惣蔵夕輝(伊勢崎)
能祖遥一(前橋)・須田崇史(伊勢崎)・小鮎林音(伊勢崎)・北爪聡(太田)・藤本隼也(伊勢崎)
地田友香(伊勢崎)・山崎涼真(前橋)・星野文彦(前橋)

○成績 〈参加チーム〉 東京・埼玉・千葉・群馬・神奈川・茨城・山梨・静岡の1都7県8チーム
リーグ戦(4チーム総当たり3回戦)で、東京に1勝10敗、千葉に2勝9敗と完敗し、山梨には10勝1敗と圧勝しました。4局目の交流戦で静岡に8勝3敗と勝って、参加8チーム中5位という成績でした。ほぼ昨年同様の結果でしたが、内容的には上位陣がいい勝負をしており、着実に群馬の力が伸びていることを実感しました。とはいえ上位4都県との実力差はまだ相当にあります。全体の順位は以下のとおりです。
優勝 東京 2位 埼玉 3位 千葉 4位 神奈川 5位 群馬 6位 静岡 7位 山梨 8位 茨城

9 夏休み、各地でこども教室が開かれる

- 高崎市城址公民館で、7/30・31の2日間、プロ棋士穂坂繭三段を講師に招いて、「夏休み子ども囲碁教室」が開かれ、延べ150人の小学生が参加。
- 渋川公民館と渋川古巻公民館で、7/29~8/2 に、「夏休み子ども囲碁教室」が開かれ、延べ53人の小中学生が参加。
- 玉村南小の「夏休みチャレンジ教室」で、7/26,7/31の2回、囲碁教室が開かれ、延べ40人が参加。

〈今後の予定〉

- 群馬こども囲碁指導者交流会 11/13(水) 伊勢崎ふくしプラザ
- 第2回くらしきこども棋聖戦 12/14(土) 岡山県倉敷市
- 第3回伊勢崎少年少女囲碁大会 12/23(月・祝) 伊勢崎市民プラザ
- 高校生との交流戦 2014年 2/11(水・祝) 前橋育英高校
- 群馬県少年少女囲碁協会総会 2014年 4/6(日) 伊勢崎ふくしプラザ